

ムササビ

Petaurista leucogenys

げっし
齧歯目 リス科

カテゴリー

大分県 地域個体群

環境庁 掲載なし



低地から丘陵地の森林に生息し、夜行性で木から木へと滑空移動する。ネコほどの大きさで、尻尾を背中に沿って立^{しっぽ}てる習性があり、尻尾の先端が頭部に届くこともある。ほとんど樹上で活動し、樹皮や葉、芽、種子などを食べる。生息場所である森林が伐採されて消滅したり、規模が小さくなったりし、子育ての場に利用していた神社の屋根裏が鉄板などで被覆されたため、「群れ」が減少した例もある。いずれも人による干渉で生息可能な場所が急減し、県内全域で個体数が減少している。

(写真：菊屋奈良義 文：足立高行)

県内分布 県内全域

分布域 本州、四国、九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）
中国（甘肅・四川・雲南省）